

平成 28 年 2 月 15 日

投資者の皆様へ

T & Dアセットマネジメント株式会社

**「資源ツイン ファンド(通貨選択型) ブラジルリアルコース」
基準価額の下落について**

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

足許の市場動向と「資源ツイン ファンド(通貨選択型) ブラジルリアルコース」の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

ファンドへの影響

コース名	平成 28 年 2 月 12 日 基準価額(円)	平成 28 年 2 月 15 日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
資源ツイン ファンド(通貨選択型) ブラジルリアルコース	3,082	2,920	162	5.26

(騰落率は小数点第 3 位四捨五入)

市況情報

	平成 28 年 2 月 5 日	平成 28 年 2 月 12 日	騰落率 (%)
原油先物価格	30.89	29.44	4.69
金先物価格	1,157.80	1,239.10	7.02

(小数点第 3 位四捨五入)

海外の市場については基準価額への反映を考慮し、2月5日と2月12日を比較しています。

原油先物はWTI原油先物、金先物はCOMEX金先物の価格を使用しています。

原油先物価格の単位は米ドル/バレル、金先物価格の単位は米ドル/トロイオンスです。

市況情報

	平成 28 年 2 月 5 日	平成 28 年 2 月 12 日	騰落率 (%)
ブラジルリアル(対米ドルレート)	0.2550	0.2513	1.44
米ドル(対円レート)	117.02	112.75	3.64

(ブラジルリアルは小数点第 5 位四捨五入、米ドルおよび騰落率は小数点第 3 位四捨五入)

為替レートは、WMロイター社が発表するロンドン時間午後 4 時のレートです。

ブラジルリアル(対米ドルレート)の単位はブラジルリアル、米ドル(対円レート)の単位は円です

各レートについては基準価額への反映を考慮し、2月5日と2月12日を比較しています。

出所:ブルームバーグ

足許の状況

2月8日から2月12日の原油先物価格は、アラブ首長国連邦(UAE)エネルギー相による「石油輸出国機構(OPEC)は他の産油国と協力する用意がある」との発言を好感し反発する場面もありましたが、リヤド(サウジアラビアの首都)におけるサウジアラビアとベネズエラの両石油相の会談で減産合意がなされなかったことや、国際エネルギー機関(IEA)の月報において今年上半期の供給超過分の見通しが引き上げられたことを受けて、期間を通して大きな下落となりました。

同期間のブラジルレアルの対米ドルレートは、世界的な株安等の金融市場の混乱や、原油先物価格の大幅下落を背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まり、下落しました。

同期間の米ドルの対円レートは、世界的にクレジット市場が急落し、企業の債務不履行に備える社債保証料が上昇したことを背景に世界同時株安となったことや、イエレンFRB(米連邦準備制度理事会)議長による「金融市場の混乱状況次第では利上げを急がない」との内容の議会証言を受けて、大幅に下落しました。

このような市場動向により、ファンドの基準価額は前営業日比で5%を超えて下落しました。

今後の見通し

原油先物市場は、当面各国の原油に対する需給バランスなどを見極めながら、暫くは値動きの荒い相場展開になるとみています。コスト面で採算割れとなっていると思われる油田が多く、供給過剰を解消するような協調減産に踏み切る可能性もあることなどから、原油先物市場は先々小じっかりの展開になると予想しています。

ブラジルレアルは、ペトロbrasなどの国営企業の汚職事件に絡んだ政治不信や財政赤字削減への取り組みに対する懸念などの不透明な要因が残るものの、足許ではブラジル中央銀行がブラジルレアルの為替相場を支えるための為替介入プログラムを強化する姿勢を示していることなどから、底堅い動きになると予想しています。

FRBが2015年12月に約9年半ぶりの利上げを実施し、その後の利上げペースが経済情勢次第であるため、現時点では不確実性が高いものの、雇用の回復基調が維持されている間は、米国の金融政策が引き締め方向で進むことには変わりはないとみています。一方、国内景気が弱含んでおり、日銀は1月29日に発表した「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を今後も継続し、場合によっては追加緩和に踏み出す可能性もあり、日米の金融政策の方向性の違いから、短期的には投資家のリスク回避姿勢により円高米ドル安が進むものの、中期的には円安米ドル高基調となると想定しています。

以上

当資料はT & Dアセットマネジメントが投資者の皆様への情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

ファンドのお申込みに際してのご留意事項

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクについて

「価格変動リスク」「為替変動リスク」「カバードコール戦略に伴うリスク」「スワップ取引に伴うリスク」

- ・ 基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。ファンドは、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

分配金に関する留意点

- ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 4.32% (税抜 4.0%) を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.5% の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	<p>ファンド: 毎日、ファンドの純資産総額に年1.3824% (税抜1.28%) の率を乗じて得た額とします。</p> <p>投資対象とする外国投資信託: 外国投資信託の純資産総額に対し、年0.5425%程度</p> <p>実質的な負担: 年1.9249% (税抜1.8225%) 程度</p> <p>ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。</p>
その他の 費用・手数料	<p>【監査費用】</p> <p>毎日、ファンドの純資産総額に年 0.00756% (税抜 0.007%) の率を乗じて得た額とし、ファンドでご負担いただきます。</p> <p>【その他】</p> <p>証券取引に伴う手数料、ファンドに関する租税、信託事務処理に要する費用等をファンドでご負担いただきます。また、組入外国投資信託においても、証券取引・オプション取引等に伴う手数料、その他ファンドの運営に必要な各種費用等がかかります。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。</p>

* 上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

* 詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。

販売会社の名称等

販売会社		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
エース証券株式会社	金融商品 取引業者	近畿財務局長(金商) 第6号				
株式会社SBI証券	金融商品 取引業者	関東財務局長(金商) 第44号				
東武証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長(金商) 第120号				
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	金融商品 取引業者	中国財務局長(金商) 第20号				
マネックス証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長(金商) 第165号				
丸八証券株式会社	金融商品 取引業者	東海財務局長(金商) 第20号				

* 加入協会に 印を記載しています。

* 株式会社SBI証券、東武証券株式会社およびひろぎんウツミ屋証券株式会社は、マネーパールコースのお申込は受付けておりません。

* ひろぎんウツミ屋証券株式会社は、ネット取引でのお申込となります。